

研究所だより

第339号
2014年5月7日
発行：土佐清水市教育研究所
TEL 82-3016

<教育研究所研究校及び研究グループ>

この1年間、清水の教育の発展・向上のために研究協力校及び研究グループを委嘱し、校内研究テーマとは別のテーマ設定での研究をしていただきます。研究の取り組み概要、成果、課題につきましては研究集録『清水の教育』に掲載します。

【清水小学校】－研究主任：田中 聡子 校長 筒井 広実

- 1, 研究テーマー筋道を立てて考え、表現できる児童の育成
～言語活動を重視した算数科の授業作りを通して～
- 2, 研究の概要

(1)、研究の目的

- ①思考力・判断力・表現力育成のため、授業改善を図る（ねらいの明確化・算数的活動の工夫／少人数指導における指導方法の工夫と改善）。
- ②年間指導計画を加筆修正し、言語活動を充実させる。
- ③学習習慣の形成を図る（家庭との連携）。

(2)、教育課程部会の取り組み

到達目標及び取り組み目標

- ①筋道を立てて説明できる児童を育てる。
 - ・発表シートを活用する。
 - ・単元ごとに児童用振り返りシートを実施する。
 - ・県版学力定着状況調査において、県平均以上を目指す。
 - ・ICT機器を効果的に活用した授業作りを進める。
 - ・授業力診断シートにおいて結果的に3.5P以上、学校評価において90%以上の肯定的評価を目指す。
- ②言語活動を充実させた算数の授業を構築する。
- ③学習環境を整備する。
 - ・ノート評価をする（算数広場での公開）。
 - ・授業とリンクさせた家庭学習を推進する。

検証方法

- ①授業評価表の活用分析。
- ②年2回（5月、11月）以上の授業力診断シートの活用（児童用・教師用・参観者用）
- ③全国学力・学習状況調査、県版学力定着状況調査、単元テスト等の追跡・比較資料を分析・活用する。
- ④学校評価を実施し、成果と課題を明確にし、次年度に生かす。

【三崎小学校】－防災教育主任：山崎 充子 校長 矢野川 正道

- 1, 研究テーマ
自ら考え行動する防災教育の推進
- 2, 研究の概要
児童が主体的に考え・行動し、自分の命は自分で守ることができる力をつける。
- 3, 研究の進め方
①児童・保護者の意識・実態調査を行い、課題を明らかにすることで、防災意識の向上を図る。

- ②児童が主体的に考え・行動できるよう、様々な場面を想定した避難訓練を行う。
- ③校区・地域の自然環境や防災体制についての知識・理解を深める学習を積み上げる。
- ④学校防災マニュアル等の見直しを行う。
- ⑤各学年の学習内容の中で「地震・津波・防災・減災」に関連する授業研究を行う。
- ⑥今年度の取り組みを集約し、次年度の実践に生かす。

<足摺岬小学校>－研究主任：吉本 砂紀 校長 中沢 義幸

- 1, 研究テーマ
自ら学び合う 豊かな岬の子どもの育成
～確かな学力を育む授業づくり～
- 2, 研究の概要
(1)、複式教育の充実
①複式教育についての理論学習
②授業研究や公開授業の実施
③教材研究や複式指導案の研究
④複式授業のスタンダードづくり（学習リーダーの育成・わたりや間接指導の工夫等）
⑤複式授業づくりのためのICT活用・環境整備等についての研究
(2)、基礎学力の定着
①基礎学力到達目標の設定（数値目標）と検証
②帯タイム（計算タイム）の有効活用
③授業力チェックシートの活用
(3) 自学自習力の向上
①家庭学習・自主学習の時間や内容の研究
②一人学び・とも学び・リーダー学習等授業の中で自学自習力を育てる手立ての研究
- 3, その他
研究成果の普及の方法
(1)、複式授業に関する理論学習を行い、全学級が同じベクトルで複式授業づくりに取り組む。
(2)、指導力向上を目指し、効果的な複式授業の在り方を研究し、授業公開を行う。
(3)、研究協力校と実践内容や資料を共有し、連携して研究発表会及びHPでの発信を行う。

研究グループ

<土佐清水市特別支援教育研究会> 会長 幡陽小学校 矢野川 清

- 1, 研究テーマ
交流学习を通して、障害のある児童・生徒が互いに連携と親睦を図ること
とで社会性を身に付けさせ、自立への意欲を育てる。
- 2, 研究の概要
1 学期 6月24日（火） 竜串海洋館
親子交換会：ゲーム交流と水族館で餌やり体験
2 学期 11月17日（月） 幡多青少年の家
合同学習会：ゲーム交流とバーベキュー
研修会：実践交流、郡文集「大地」仮とじ
3 学期 ①1月19日（月） 社会福祉センター

合同学習会：ゲーム交流とカレー作り
 研修会：今年度の総括
 ② 2月13日（金）
 文集の製本（清水小学校）

<以南社会科教育研究会>

代表 田村 公利

1, 研究テーマ

社会科地域教材開発
 ～土佐清水市域及び近隣市町村域～

2, 研究の概要

2年前から、小学校高学年から中学生用の地域教材として「土佐清水市域に電灯が灯る」「上田亀之助の土佐清水・市街地造成」「窪津沖の鯨漁」「幕末期・土佐国西南部での鯨漁と鰹節加工」「野中兼山と柏島の石堤」等を開発してきた。

本年度は、新たな地域教材を市域2編、近隣市町村域1～2編の開発を試みたい。加えて、これまで開発してきた教材を改訂・再構成し、『土佐清水市社会科地域教材集』（改訂版）として冊子とデータにして作成・発行したい。各教材の指導計画や指導案をすべて作成することは到底不可能であるが、本年度は事例的に何点かの教材について、指導計画と指導案を作成し、小中学校の教員が授業で具体的に活用できるように工夫していきたい。

市教研 各部会研究テーマ、研修計画

国語部会 自分の思いが表現できる授業づくり
 稲野 仁子 8月20日 NIE教育の実践について（講師：川口 先生）
 （5名） 11月 5日 研究授業（清水小：助村 紗恵）
 12月 5日 年間総括

社会部会 社会科の指導法の研究 ～フィールドワーク・地域教材を活用して～
 原 久人 8月20日 フィールドワーク（市街地）講師招聘
 （12名） 11月 5日 研究授業（三崎小：田村 公利）
 1月16日 年間総括

算数・数学部会 楽しく、わかる算数・数学の授業の創造
 和泉 邦佳 8月20日 教材研究、実践交流
 （14名） 10月14日 指導案検討（2年「かけ算」）
 11月 5日 研究授業（清水小：横山 茜）、教材作り
 1月13日 年間総括

理科部会 わかる楽しい授業づくり
 矢野川 清 8月20日 理科室の実験道具の使い方 講師招聘
 （12名） 11月 5日 研究授業（清水小：増山 賢太）
 講師招聘（海遊館以布利出張所の役割と魚類について）
 1月20日 年間総括

音楽部会 一人ひとりが生きる音楽の授業をめざして
 小花 真里 8月20日 教材研究 器楽の指導（講師招聘）
 （6名） 11月 5日 研究授業（幡陽小：渡辺 素子）
 1月 年間総括

図工部会 豊かな発想で創造する力を育てる
 杉本 なぎさ 8月20日 アートガラス実習
 （11名） 11月 5日 研究授業（下川口小：江口 育世）
 1月22日 年間総括

養護部会 地域に根ざした健康教育 ～歯の健康について～
 野村 静香 5月27日 指導案検討
 （8名） 6月24日 保健指導後の情報交換・歯の教材持ちより
 7月28日 指導案検討
 8月 歯についての通信、2・3学期の検討
 8月20日 研究発表に向けての資料作り
 10月 研究発表原稿作成
 11月 5日 研究発表原稿検討、役割分担
 12月 研究発表原稿仕上げ
 1月 研究発表に向けてのリハーサル、年間総括

体育部会 自主性を活かし、個性を伸ばす体育指導
 小橋 歩 8月20日 ニュースポーツ教材研究 陸上実技研修
 （8名） 11月 5日 研究授業（清水小：今津 好智）
 1月 日 年間総括

外国語部会 みんなが意欲的に取り組む授業づくり ～ゴールイメージを持った活動～
 寺田 志浩 6月 第1回小中高連携（授業参観・清水高校）、研究協議
 （7名） 7月 授業研究（下川口小：岡崎 福恵）
 8月20日 研究テーマについての研究協議（講師招聘）
 11月 5日 研究授業（清水中：浦田 国宏） 研究テーマについての研究協議
 1月 年間総括

事務部会 「学校事務をふかめる」～組織の一員としてできる学校事務を考える～
 上浦 葉子 6月 年間研修計画
 （11名） 7月 学校訪問
 8月20日
 11月 5日
 1月

人権教育 差別の現実から深く学び、どう自分自身の課題として教育活動に生かしていくか
 溝淵 紀仁 8月20日 実践交流 地域の現実
 （9名） 情報化社会で薄れつつあること（講師招聘）
 11月 5日 研究授業（下川口小：不破 久善）
 1月23日 年間総括

教育相談 ～見る・聴く・つなぐ～ 人間関係を考える
 奥谷 木の実 6月19日 事例研究（講師招聘）
 （12名） 8月20日 事例研究（講師招聘）
 11月 5日 事例研究（講師招聘）
 12月 2日 年間総括